



G

グランシップマガジン
[ジー] vol.37

GRANSHIP magazine
WINTER 2007

SPECIAL

2007年 しずおか 連詩の会

「ガラスの船」の巻

次代を創る顔

画家 永島 千裕

しずおかアーティスト・リレー

日本画家 今川 教子

SERIES わが羅針 第37回

池辺 晋一郎

小特集

高松宮妃のおひなさま

村松友視の文化漫遊②③

グランシップ ベンクラブ

大川 信子 (常葉学園大学教授)



2007トーキョーワンダーウォール大賞受賞作品
『Heavenly Site』

アクリル画。公募規定の最大サイズ120号で制作。12/3～25には本作を含め9点が東京都庁の壁面を飾った。

画家 永島 千裕

描きたいものは、真実の風景。
ビジョンの訪れこそ、最も興奮する瞬間。



朝の五時。こっそり起き出した少女は、白い紙にマスを引き、端から一つずつ人の顔で埋めていく。「それは今の絵とあまり変わらない」と彼女は笑う。作品の大半は群像。しかも大作が多い。描こうとするビジョンが広い空間の中に開かれる。だから「大画面を描かなければ、というのがあるんです」。そして、そうしたビジョンの訪れこそが、画家と

して最も興奮する瞬間でもある。「現実に見えてくる風景が蒸留され、純粹な感覚として甦ってくる。それをそのまま画面に写したいと思うのですが」。テーマは、祈りにも似た「真実の風景」。信じるものだけが存在するような原始的な風景だ。「いつか空間全体を使つて、絵というより、風景として感じてもらえる、そんな展示をしてみたいですね」

ながしま ちひろ

静岡雙葉高等学校卒業後、京都嵯峨芸術大学入学。油画を専攻するもほどなくアクリル画に転向。2004年に東京都による新進アーティスト支援事業の一貫である公募展『2004トーキョーワンダーウォール』に入選。その後、在学中に『ART UNIV.』『DISCOVERY2005』をはじめ、グループ展に参加。卒業後、東京の青樺画廊にて個展『うだいの森』を発表。今年、『2007トーキョーワンダーウォール』で大賞を受賞。6月に東京都現代美術館にて『入賞作品展』が行なわれ、12/3～25には自身の作品全9点が東京都庁の壁面に展示された。1983年静岡県静岡市生まれ。



Contents

次代を創る顔③⑦ 2

画家 永島 千裕

しずおかアーティスト・リレー⑱ 3

日本画家 今川 教子

SPECIAL 特集 4

2007年 しずおか 連詩の会 「ガラスの船」の巻

series わが羅針 第37回 11

池辺 晋一郎

「音は知っている。」

coming soon I 15

GRANSHIP JAZZ LIVE

SWING JAZZ CLUB ~BENNY GOODMAN~

小特集 16

高松宮妃のおひなさま

グランシップペンクラブ 大川 信子(常葉学園大学教授) 19

coming soon II 20

グランシップ名人会vol.2

柳家小三治独演会

essay 村松友視の文化漫遊② 22

「お辞儀と握手」

画/風鈴丸

information a-go-go 24~30

●公演情報

●Just Finished! / 「イッセー尾形」 ●プレゼント

●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS

●TRY GRANSHIP

●SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room



(2006年制作)

表紙アート●村上 征生 作品タイトル:『少女の手品』
少女の手が広がると、にぎってた棒がのびだした。する
ところからかピエロうさが現れて、よろけた格好で綱
渡り。ヨロヨロ、ヨロヨロしていると、音の花びら舞い降り
て、小さな小さな声で励ました。やっと演じたうさぎさん、
パンツにかくれて冷や汗かいた。

しずおか

19

アーティスト・リレー

日本画家
今川 教子

次回
陶芸家
ソネ ノリコさん



『夏の色』 2007年 64.0cm×38.5cm 素材/麻紙、岩絵具

景色を目の前にして甦るもう1つの景色。

それは心の中の思い出かもしれない。または

自由に広がるイメージであるかもしれない。

そして、はるか遠く離れていても今もきっとどこかに

存在している風景かもしれません。

いまがわ きょうこ●1981年静岡県静岡市清水区(旧清水市)生まれ。'04京都造形芸術大学芸術
学部美術科日本画コース首席卒業。'04~'06混沌から躍り出る星たち2004展/他個展、グループ展。
'07個展(大丸京都店・東京)/千年の会一千住博と若き波一/JAXA(宇宙航空研究開発機構)
主催「日本画は宇宙を描く」最優秀賞/ART Shanghai 2007/Millenniumの星展、他。

二〇〇七年 しずおか

連詩の会

「ガラスの船」の巻



**漕ぎ出す船。乗り組む五人。
言葉を權に行きつく先とは？**

この静岡では、「連詩」は、もはや耳新しい言葉ではなくなりつつある。僭越ながら、その一翼を担ってきたのが、この「しずおか連詩の会」ではないだろうか。今年で八回目。連詩の第一人者といわれる大岡信氏が例年通りさばき手を務め、野村喜和夫氏は昨年に続く二度目の参加。ほかの三人は、本格的な、あるいは公の場での連詩への参加は初めてというが、今回、大岡氏にキヤスティングを二任されたという野村氏によると、「クレバーな女性詩人」二人と「名前からしてユニークな男性詩人」とのこと。顔ぶれによって世界観や趣が変わっていくのも、連詩の面白さの一つだ。

そんな連詩が今年も始まり、そして、全四十編が完成した。

タイトルは、毎年の例に倣い、新井豊美氏による最初の詩から「ガラスの船」の巻とつけられた。その日、世界中を駆け巡ったニュースをヒントにした第一番を合図に、連詩は「掃き清め」られた道を厳かに出帆。自然の景観から、犬の人生へ、宇宙の広がり、音楽、ヴィーナス、桜エビ、一休さんまで、さまざまなモチーフを旅し、最後は詩人の心に帰港した。

さらに創作したばかりの作品は、完成の翌日、グランシップで発表。詩人による朗読の後、創作の裏側などが明かされた。

創作 二〇〇七年十二月二十二日(木)～二十四日(土) ホテルセンチュリー静岡
発表 二〇〇七年十二月二十五日(日) グランシップ 十一階 会議ホール・風

連

詩とは、連句や連歌の美学をベースにした創作現代詩で、毎年さばき手を担う大岡氏は、その提唱者であり、第一人者。定まった形式はないが、本会では五行と三行の詩を交互に繰り返すフォームをとっている。各詩にはさまざまな視点、モチーフが織り込まれ、別の詩人が後の詩を創作し繋いでいく。発表会では、創作者による朗読のほか、繋がり解くための解説が行われ、以下は、作品全編と、その解説の一部である。



創作 ホテルセンチュリー 静岡

未来をひらくニュースが 敵か今年の第一編をひらく。

【第一編の解説】

豊美…予想もしなかったト
ップバッターを仰せつかって前夜は眠れ
ず、何かヒントをとテレビをつけたら
「ヒトの皮膚から万能細胞」のニュース。
早速いただきました。この新発見をキ
リストの最後の晚餐のグラス探しにと
って代わる「聖杯伝説」とし、五人が
集ったホテル最上階のグラス張りの部
屋を「ガラスの船」に見立てました。
連詩の始まりにふさわしく「筭」で道
を清め、清々しく始めようという気
持ちを込めています。

【第七編の解説】

喜和夫…前の詩の「犬」から、ここ
では犬に語らせています。つまり「ぼく
は犬。こういう変わった受け方もあり
かなと。人間の四倍の速さで年を取っ
てゆくことを書いています。

一 われらは漕ぎ出す

二十五階から晴朗なガラスの船で
万能細胞の開発が

あらたな聖杯伝説としてささやかれた翌日
地上を掃き清める筭の音がひびいて

豊美

二 地と空の隙間をひらくように

いま 富士の斜面にはたてがみに似た雲がかかり
そこにいたることさえ私たちにはむずかしい

喜和夫

三 しかし山々は優しい 山の名を知らなくとも

まだ緑なす木々の梢にしたたる露の映す空の美しさを
夢にさえ見られなくとも

地と空の隙間から 景色から分泌される
あかるい母の血のようなものがある

聖恵

四 風船が空へと旅立って行くのは

父も母もないことを知っているから
晴れた日の朝も 雨の日の夜も

犬男

五 下に見えるのは三保の松原

浦島太郎が釣りをしていたあたり
観光客が捨てていった小猫一匹
チーズのかけらをかかえて

ざらざらの舌でぺろぺろ

信

六 滾々と湧き出す湯につかって

自然のままの人間の原始を想像する
犬の群れとともに裸足で地面を踏みしめて走っていた

豊美

七 ぼくの生の砂時計は

主のそのの四倍速で零れてゆく
悲しいかいと訊かれても
うまく答えることができない
日没へ 耳のシルエットを濃くしてゆくだけだ

喜和夫

「今年はハイペースで創作が進みました。
ガラスの船が沈没しなくてよかったね」(笑)



大岡 信

おおおかまこと

東京大学文学部卒業。詩集『記憶と現在』『春 少女に』『捧げるうた50篇』『旅みやげ にしひがし』。著作『折々のうた』(通巻19冊)『連詩の愉しみ』『ヨーロッパで連詩を巻く』『うたげと孤心』『日本語の豊かな使い手になるために』など。現在、日本芸術院会員。2002年国際交流基金賞受賞。2003年文化勲章受章。2004年レジオン・ド・ヌール勲章受章。1931年静岡県三島市生まれ。

「一堂に会しての創作は勉強になったし、それ以上にとっても楽しかった！」



新井 豊美

あらいとよみ

銅版画から詩作に転じる。詩集『河口まで』(地球賞)『いするまにあ』『夜のくだもの』(高見順賞)『現代詩文庫114・新井豊美詩集』『接断と切続』『シチリア幻想行』『草花丘陵』、評論『苦海浄土の世界』『女性詩』の現在』『近代女性詩を読む』『詩の森文庫・女性詩史再考』など。1935年広島県生まれ。

「記憶を辿って書く私には、山あり谷あり。でも、最後に海がありました。」



河津 聖恵

かわづきよえ

京都大学文学部独文科卒。詩集『夏の終わり』(歴程新鋭賞)『アリア、この夜の裸体のために』(H氏賞)『現代詩文庫183・河津聖恵詩集』、評論『ルリアンスー他者と共にある詩』など。1961年東京都生まれ。

八

あらわれた星々を真珠のように眺める人
ご飯粒のように手をのばすひと
この地上に 今 長く短く砂時計たちの影が伸びる

九

燃えてばかりいるのも楽じゃないぜと
太陽が愚痴をこぼせば
回ってばかりいるので目が眩むよと
惑星がため息をつく
天文学者は明かさないのだが

十

夜の海でぶつぶつ呟く魚たち
その声は愚痴のように聞こえるが
じつは大っぴらな愛のささやき

十一

おいでよヴィーナス 臍にピアスしたきみを
ひらがなにしてあげよう そうして
乱れ髪や花のいのちを抜け あかねさす
紫野まで連れて行ってあげよう
おいでよ おいでよヴィーナス

十二

いのちの最も柔らかなところに触れようとして
触れることのできないもどかしさ
語りつづけてなお届かない数々の幻の中で

十三

木の命を語ろう
一万年生きてきた木の精は
ぐるぐるそれを取り巻く人間たちに
まどわしの術をかけ
霊山のまぼろしを見させる

十四

虹は発明されたのです
雨上がりの透明な研究所で
誰も知らないひどく孤独な技術によって

十五

幻の橋 愛 シャボン玉
現れて消えるまで 見ていたかったもので
世界は出来ている！
でも指させない 見ないふりする 歩き出す
石の橋を渡っている

十六

けさ 振付家ベジャールが死んだ
まなざしからまなざしへと あやうくて逃れやすい
ひとの肢体の輝きを渡していったのちに

聖恵

大男

信

喜和夫

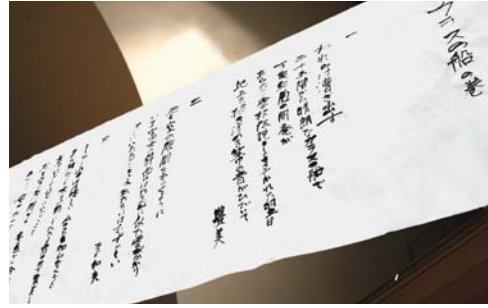
豊美

信

大男

聖恵

喜和夫



言葉の背後に潜んでいるもの。 たとえば小野小町、空想の景色。

【第十一編／第十五編の解説】

喜和夫…連詩の愉しみの一つは、主体を自在に変えられること。先ほどは「犬」、ここは「愛」を受けてヴィーナスを口説くところでもない男が登場しています。(笑)但し、僕に都合よく「ひらがな」のやまとなでしこにして、一緒に日本文学史を遡ろうと。「乱れ髪」は与謝野晶子、「花のいのち」は小野小町、「あかねさす」は額田王。みんな女流歌人です。

豊美…ならば、野村さんの愛に応えなければ。(笑)ただ、最初書いたものは大岡さんに「わからないね」と却下され、結局、自分への愛ではなく、抽象的なものになりました。(笑)

信…いやあ、そうでした？(笑)ここでは「いのち」を受けて、最も長生きなものは何かと考えて、木ではなからうかと。実際は知りませんけれどもね。**犬男**…前の「まぼろし」から「虹」に。

虹は自然現象だと思ってるけど、実は発明かもしれないと。「透明な研究所」だから誰も見ることができないし、たぶん研究員も透明人間なんでしょう。自分は現実に興味がないのかも。空想で遊ぶのが好きなんです。

聖恵…私は田口さんと対局。体験の印象を記憶して、あなたのために言葉にするタイプ。だから、他の人の言葉や場の雰囲気を受けて書いていく今回の連詩は辛かった。「幻の橋」とは虹、「石の橋」は現実の橋ですね。

十七

人は生涯 他者のために
何かを運びつづけて終わるだろう
「最後の強力」と呼ばれた小俣彦太郎さん
そのたくましい腕が運びつづけたたくさんの愛
澄みわたった冬空のもとへ

十八

尾瀬の清流
ころがし続けた小石が とうとう
巨きな岩の上に鎮座している

十九

壊れてしまったヴィヴァルディのレコードが
春を謳歌している
春を謳歌している
春を謳歌している
季節は夏になりかけている

二十

二〇〇七年夏
月面のごときつよい光に打たれ
最高気温だけを残して地球は巡った

二十一

探査機のカメラ・アイが写し出すまで
月の裏側は謎だった
鏡の前で表側をととのえる
その奥まで写し出される心配はない
などとはこの先 言っではいられないのだ

二十二

私は鏡が苦手だ ホテルは鏡が多い
三段論法でいくと ゆえにホテルに私はいない
なのに もう三日もこもっている

二十三

鏡が役に立たない世界に行こう
裏を貼ってない素通しのガラス板に
自分の似顔は自分で描く
人の顔が映ってもみんな同じに見える
人類平等の理想に近づく

二十四

ガラス越しに見下ろすビル群を夕日がなせている
もう一人の私がこの街のどこかにいたら
どんな話をしよう たくさん話をしよう

二十五

愛という言葉
口にすることが出来なかった償いに
男は子供を愛と名づけた
愛はいま首が据わっていない
愛はまだ泣いてばかりいる

豊美

信

犬男

聖恵

豊美

喜和夫

信

聖恵

犬男

「初日は興奮してなかなか眠れず、
ホテルの部屋を走っていました」(笑)



田口 犬男

たぐちいぬお

慶応大学文学部仏文科中退、米国ウェスタン・メリーランド大学卒業。25歳頃から詩を書き始め、2000年に詩集『モー将軍』で第31回高見順賞を受賞。他の詩集に『二十世紀孤児』『アルマジロジックAlmagilologic』『ハッシャ・バイ』がある。書評、エッセイ、ショート・ショートも手がける。2002年から2004年まで同人誌『ウルトラ』参加。2007年5月サラエヴォ国際詩祭参加。1967年東京都生まれ。



野村 喜和夫

のむらきわお

早大文学部卒。現代詩の先端を走り続けるとともに、批評、翻訳、朗読パフォーマンスなども行う。詩集『反復彷徨』『特性のない陽のもとに』(歷程新鋭賞)『現代詩文庫・野村喜和夫詩集』『風の配分』(高見順賞)『ニューインスピレーション』(現代詩花椿賞)『街の衣のいちまい下の虹は蛇だ』、評論『ランボー・横断する詩学』『散文センター』『21世紀ボエジー計画』『金子光晴を読む』『現代詩マニュアル』、CD『UTUTU／独歩住居跡の方へ』など。1951年埼玉県生まれ。

「昨年はあつという間。今回は連詩の奥深さ、
ダイナミズムを感じとれたかなと思います。」

二十六

笑った顔 すねた顔
かわいい我が子の百面相
卵料理の得意な娘になるでしょう

豊美

二十七

たまには悪夢を報告しよう 私は口から
乳白色の丸い石を吐いていた 光にかざすと
文字列が渦巻いて 息を呑むほどに美しい
あわてて読み取るうとするうちに 目が覚めた
あれはたぶん 私の決して書きえない傑作

喜和夫

二十八

文字の列が高々と昇天してゆく
光と影を交互に演じながら
妙なる音を秘めた楽譜になる

信

二十九

夜明け 空は海から別れはじめた
水平線は光の五線譜をつぎつぎ放ち
光る海はこまかにうちふるえる
壁の絵の魚が聴いているのはアヴェ・マリア?
群れ飛ぶ海鳥たちが空をつなぐまで 人は眠る

聖恵

三十

黒い聖母像をみたことがあります
黒曜石のように輝くその肌は
たったいま地中から切り出されたというふうでした

喜和夫

三十一

ホテルの中にも森羅万象があると気づく
クリスマスツリーの飾りに人影の木々は揺れ
詩人が幼い頃から食べていた黒はんぺんは
鯛のイノチがぎゅっと詰まっておいしい
エレベーターから見える富士は みんなに「おはよう」

聖恵

三十二

われ笑う
故にわれあり
陽気なコギトとたったいま擦れ違った

犬男

三十三

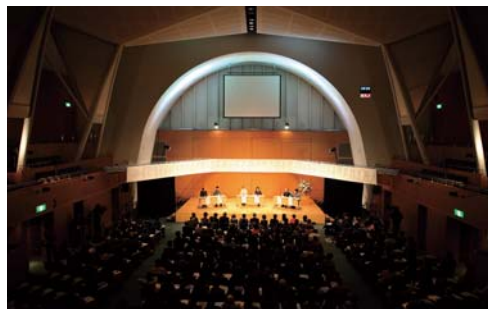
むかしコマバという田舎で
故にわれありというフランス語をならった
腹べこの朝夕だったが
デカルト先生をやつてると胃袋はやせ細って
故にわれなしの夜更けだった

信

三十四

清潔すぎる厨房からは海が見えない
だが潮騒は鳴り止まない
ドビュッシーに嫉妬しているのだ

犬男



発表 グランシップ会議ホール・風

桜井 洋子 さくらいようこ
NHKアナウンサー。
昨年に引き続き、今年も発表の席の司会を



「ゼミ合宿のような
昨年とは違い、
今年はやわらかな空気を
感じました」



**仕掛けられた早口言葉、逆さ言葉。
詩人の苦悩は、やがて悟りへ。**

【第三十六編〜第四十編の解説】

聖恵…虎のシマシマを意味する「虎斑」から、詩人が虎になる中島敦さんの小説『山月記』に転じて書いたら、大岡さんにダメ出しされ、遂方に暮れて部屋の外を見ると編々がいつぱい。新聞の写真で見た大漁の「桜エビ」に加えて、詩が書けない苦しい状態も利用しました。

犬男…一休さんのエピソードをそのまま使いました。早口言葉もそのまま取り入れて。まあ、これは完全な冗談ですね。

信…その坊主は「天竺」、今のインドに行つてしまった。「てんじく」と「ちくでん」は逆さ言葉になっています。

喜和夫…言葉遊びが仕掛けられているとは！連詩の最後が近いことも意識して「高僧」から「悟り」へ。これは詩のことだと考えても。高い所と低い所を行ったり来たりする「眩暈」のような感覚について書いています。

豊美…坊主、高僧、悟り…それを詩人につなぐのはおこがましいけれど、心構えとして受けとめようと。「千の眼」を持つことは必要だけど、ときには曇った眼玉を外して磨くことも必要かなと。このような詩で終わっていないかと大岡さんに聞いたら、無事OKが出てホッとしました。

三十五

駅のスタンドで食べた
桜エビの天そばはまことに美味だった
深い駿河トラフの底から無尽蔵に
生み出されて来る生きた宝石
神の指先の華麗なる魔術

三十六

トラフを虎斑と打ち間違えて頬杖をつく 外を見る
電波塔は紅白の ビルも窓のしましま
桜エビほどに詩が湧けばいいのに

三十七

屏風の虎を捕らえてしまったので
屏風はからっぽになった
坊主が屏風に上手に坊主の絵を描いて
それは坊主の屏風になった
彼はまだそこに留まっている

三十八

坊さんは屏風を抜け出て天竺に逐電した
子供を作り 高僧と仰がれた
彼の子孫は今も榮えている

三十九

私は考えている
一瞬の眩暈のような悟りについて
そこでやすらうことも
それをいつくしむこともできない高所について
外では陽ざしが深々とあたたかい

四十

高空をゆく雲の眼 地を這う虫の眼
この明るい陽光のもとで詩人の仕事は千の眼を持つこと
ときにその眼玉を外して さらに磨きをかけること

創作 二〇〇七年十一月二十二日(木)起
同月二十四日(土)満尾

於 ホテルセンチュリー静岡
参加者 詩人 野村喜和夫
新井 豊美
河津 聖恵
田口 犬男
大岡 信

発表 二〇〇七年十一月二十五日(日)
於 グランシップ十一階会議ホール・風

豊美

聖恵

犬男

信

喜和夫

豊美

池

邊
晋
一
郎

音は知っている。

「木曽節では”木曽のなくあ”の”あ”をちよと押す。なぜなら音が上る際にはエネルギーが必要なんです。私は音痴です、という人も、歌えば必ずそうなる。だから僕は、あなたは音楽がわからないというけど、音のほうであなたを知っていますよ、と言うんです。」

二輪の曲へん。

大河ドラマ一本、一年でおよそ六五〇曲。これまでに何曲作ったのか、とても数えられない、と笑うほど、氏の作品は数多く、実に多彩だ。そして、そんな音楽の引き出しと同じくらい、氏の話の引き出しは豊富で、あちこちの引き出しから珠玉のエピソードを取り出せば、ときに駄洒落を織り交ぜながら語ってくれる。音楽を作る人も、演奏する人も、聴く人も心から楽しめる「音楽」の世界——静岡でのコンサートが待ちきれない思いだ。

——日本で最も多忙な作曲家の一人でいらつしやいますが、ご幼少の頃は病弱だった

とうかがっています。

「あまり信じてもらえないんですけど、そうなんです。ただ、音楽との出会いは、身体が弱かったことと関係していて、体調がいい日に母親のピアノを悪戯するところから始まるんです。身体が丈夫なら、外で暴れ回っていて音楽に触れなかったかもしれないし、それほど弱くなければ、せめてピアノを習ったはず。でも、習いに行けないほど弱かったから、デタラメを弾くしかなかった。病気で寝ていて、窓の外に見える雲にヘキリンのような雲とか、タイトルをつけて弾いていましたね。」

——一口に作曲家といっても、先生ほど多岐に活躍されている人はいないと思います。が、いわゆる純音楽といわれる「個」で完成する音楽と、映画や舞台のように「チーム」でつくりあげる音楽とでは、その曲づくりには違いはありますか。

「本質的には同じですが、とはいえ…。個の仕事というのは、孤独な作業でしょ。そうすると人に会いたくなるし、誰かと一緒に仕事をしたくなる。でも、コラボレーションとなると、演出家や監督がいて自分の好き勝手にはできない。すると不満も溜まる。そうするとまた一人で仕事をしたくなる——。

僕の仕事は、二輪車なんです。純音楽だけ、映画音楽だけという人もいますが、僕にはどうも二輪車が必要らしいということを随分前から自覚しています。ぶきつちよだから、一輪だと転んじゃうんじゃないかな。」

——著書の中で「シューベルトはメロディを書いているのではなく、天空に浮かぶメロディ

をすくいとっている」と記されていましたが、ご自身のメロディはどのあたりからすくいとっているのですか。

「さあ、どこからでしょう。よくジョークは言うんですけどね。締め切りが迫ったり、予期せぬことが起きたりすると背中に走るでしょう、戦慄が。このセンリツ（旋律）をとってくるんですよ、とね。（笑）」

——映画では世界に名だたる監督と一緒されていますが、音楽へのオーダーの仕方それぞれ特徴はありますか。

「一番理論的なのが、篠田（正浩）さんですね。たとえばAに対するアンチテーゼとしてのBの音楽を書いてくれとか、理屈でくる。全く違うのが黒澤さん。未編集のラッシュフィルム段階で、もう音楽が入ってる。最初の映画は『影武者』でしたけど、軽騎兵序曲とかカポピュラーな曲が入っていて、監督は「気にしなくていいよ、参考だから」というんだけど、そりゃ、気になるよ。（笑）だから、僕としては、このメロディなのか、金管楽器のイメージなのか、リズムなのか、どこが欲しいのかを雑談の中で探るわけ。そこがまた面白いんですけど。」

——『楳山節考』では、かなりの山奥まで足を運ばれたそうですね。

「どの作品も撮影現場にはどこかで必ず行くんです。『楳山節考』では、北アルプスの大糸線の南小谷駅から三時間ほど登った廃村で撮影していて、そこに僕は今村（昌平）監督との打合せがてら、僕が作った農民の歌を役者に教えるために行ったんです。まず、その歌を僕が今村監督に歌って

いいホールの条件とは。

——ラッシュの後に音楽が入る映画では、演技そのものが音楽に影響されることは

聞かされると、監督は目をつぶって「五線が見える」と言う。つまり作った感じがするとそれで修正して歌うと、「うーん、まだ四線あるな」と言うんです。結局、それが監督流のOKという意味だったんですけれど。」



『交響曲第3番&第5番』（作曲／池辺晋一郎 指揮／佐藤功太郎 演奏／東京都交響楽団、松居直美）
グランシップでのコンサートで演奏される第5番「シンプレックス」のほか、日本で最高の交響曲と絶賛される第3番「エゴ・パノ」を収録。

敵がそこまで迫っているというのに二三分しゃべるわけです。（笑）そのシーンで演出家は台詞の始まりから音楽を入れて、盛り上がり、剣に身を投げかけたところでパンと音楽が終わり、無音の中でバタツと倒れる、というアイデアを出したんですね。普通、演劇の音楽というのは、現場で音をフェイドアウトさせて調節するのですが、このときは映画やテレビドラマのようにピッタリの音楽が欲しいと。で、僕は稽古場で役者の台詞を毎日ストップウォッチで測ったわけです。さすがにブルータスを演る俳優さんは有名な方で、台詞の尺が毎日同じなんです。よし、これなら書きやすいぞと。それで録音して稽古場で音を出したら、不思議なことに音楽が終わっても、まだ台詞が残ってる。俳優は僕が測り間違えてるといいましたが、違うんです。音楽が入った途端に気持ちよくなつて、台詞が遅くなったんですね。」

——それこそ音楽の力ですね。

「あるとき、友人の盲目のピアニストがラヴェルのピアノ協奏曲を弾くと海が見えると言ったんです。とくに第二章で見えるのだと。この話がある大御所のピアニストに話したら、ラヴェルと海とは何の関係もない、それを素敵だとキミみたいな者が吹聴するのが困るというわけ。日本では、明治以後、音楽は音による芸術であって、他のいかなる要素もそこに混入させてはいけないという主張があるんです。これはドイツに起きた思想で、音楽で他の何かを表現するのは邪道であると。ところが日本は、古来、音楽だけが独立してあったということがな

楽譜に起こす際には、もう頭の中に全曲できあがっているという。「あとは書くという労働だけ。ただ、楽譜にする時間がない。焦眉の急といいますけど、僕は焦げるんじゃなくて、焼けるほうの“焼眉”。(笑)」

【いけべしんいちろう】

作曲家。1971年東京芸術大学大学院修了。'66年日本音楽コンクール第1位受章。以来、ザルツブルグ市テレビ・オペラ祭優秀賞、国際エミー賞優秀賞、芸術祭優秀賞、尾高賞、毎日映画コンクール音楽賞、日本アカデミー賞優秀音楽賞、NHK交響楽団有馬賞ほか、受賞歴多数。『交響曲Ⅰ～Ⅶ』『ピアノ協奏曲Ⅰ～Ⅱ』、オペラ『死神』『耳なし芳一』をはじめ、室内楽曲、合唱曲など作品多数。『影武者』『夢』『八月の狂詩曲』(黒澤明監督)、『瀬戸内少年野球団』『少年時代』(篠田正浩監督)、『復讐するは我にあり』『楳嶺節考』『うなぎ』(今村昌平監督)、『監督・ばんざい!』(北野武監督)などの映画、文学座、俳優座、無名塾などの演劇、『独眼竜政宗』『八代将軍吉宗』『元禄缭乱』などのテレビドラマで音楽を担当。NHK『N響アワー』にレギュラーで出演。著書に『音のいい残したもの』『おもしろく学ぶ楽典』『バッハの音符たち』『モーツァルトの音符たち』など。2004年紫綬褒章授章。(社)日本作曲家協議会前会長。現、東京音楽大学作曲科教授。'43年茨城県水戸市生まれ。



いんですね。ほとんどの場合、語りや舞踊、能のような演劇、詩歌などと一緒になって

——では、先生が今、一番伝えたいことは何でしょう。

いる。つまり情景を思い浮かべたり、感情を沸き起こせたりするのが音楽なんですよ。ということとは、ヨーロッパでは音楽は音楽だけという主張があったけれども、日本人の感性は、音楽と何かがいつでも結びつくのではないかと。そういう感覚においては、日本人はどの民族よりも長けているかもしれない。僕はそれを大事にすべきだと思うんです。僕が映画や演劇の音楽を書くというのは、そういうことでもあるんですけど。」

「クラシック音楽は敷居が高いと思われるがちですが、まず、そういう意識を取っ払いたい。『私は音痴だから』とか、『音楽だけではどうしてもわからない』とおっしゃる方がいますけれど、そういう人も木曽節を歌う時、『木曽のな〜あ』と最後の『あ』で上がる所で、ちよつと押す。そこで抜く人はいません。なぜなら音は放っておけば下がるもので、上るにはエネルギーが必要なんです。そういう音の感性は誰もが持っているもので、『私は音痴です』という人も、歌えば必ずそうなる。だから、僕は『あなたは音楽がわからない』というけど、音のほうであなたを知っていますよ』と言うんです。音楽と

「響きのよさとか、アクセスのよさか、いろいろありますが、やはりソフトだと思っています。要するに企画ですね。企画がいかにイキイキとしていて、地域の人々の要望に合っていて、なおかつその一歩か二歩先を行くかというところ。音楽というのは、もちろんいい響き、いい条件の中で演奏することは重要だけど、野っ原でもできる。やや社会的メッセージの強い合唱曲を海外でやった際、先乗り隊が『ひどいホールです』とファックスで言ってきたことがあります。僕は『ひどいホールではメッセージが伝わらないのか?』と送り返しました。自分たちがどういうメッセージを持って歌うかが大事であつて、こういうホールなのかは問題じゃないと。それはホールの仕事すべてにいいえらることで、何をやるか、何を伝えたいかが大事なんだと思います。」

——二月にグランシップで予定されているコンサートは、まさに誰もが楽しめるプログラムになっていますね。とくに先生がお作りになったシンフォニーが楽しみです。

「あれは都響が東京都民の誰にでもわかる曲をといて依頼で作ったものです。ある種の現代音楽の楽しさ、開放的な音楽を意図して書きました。僕には珍しく、二楽章は以前の演劇の音楽の転用なんです。しかもこれは後に映画『スパイゾルゲ』にも使いました。第三楽章は指揮がとて難しくて、自分の曲ながら振るのが大変。(笑)二月には静岡のために訓練させていただきましたよ。」

2008 2/10 参加申込受付中

静鉄グループPRESENTS
グランシップコンサート

音楽の不思議

〜メロディのからくり〜

PM1:30開場 PM2:00開演

グランシップ 中ホール・大地

全席指定(要事前申込) 1,000円

指揮・ピアノ・お話／池辺晋一郎

ピアノ／長谷川さち子 演奏／静岡交響楽団

プログラム

第一部 ビゼー／歌劇「カルメン」より前奏曲

モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番 八長調K467第2楽章

シューベルト／劇音楽「ロザムンデ」より 間奏曲第2番、バレエ音楽第2番

第二部 池辺晋一郎／交響楽第5番「シンプレックス」

申込み・お問い合わせ／P25参照



ス

イキング黄金期を代表する
ビッグ3を一人ずつフィー

チャーしておくる、グランシップの

「スイングジャズクラブ」。その最

後を飾るのは、ヘスイングの王様

と呼ばれる男、ベニー・グッドマン

だ。企画のプロデュースに関わり、

また、ホストバンドへブルースカイ

オーケストラを率いる奥田「スイ

ンギー」英人氏いわく、「スイング

そのものを世に広めたジャズマン

こそ、このグッドマン」であるという。

貧しいロシア系ユダヤ移民の家

庭に生まれたベニーは、10歳の頃

から無料で学べる地元の音楽教

室でクラリネットを習い、11歳で

デビュー。25歳で自らの楽団を結

成し、ロサンゼルス有名なダン

スホール、パロマーボールルームで

大成功を収める。都会的で躍動

感のある歯切れのいいサウンド。

彼のスイングにアメリカ中が魅了

されたといっても過言ではない。

当日は、今なお愛される彼のナ

ンバーをビッグバンドならではの

厚みのある音（奥田氏はこれを

”サウンドシャワー”と呼んでいる）

で楽しめるだけでなく、彼にまつ

わるエピソードや音楽的な特徴

も明かされる。セシル・モンロー、

宮尾香代という豪華なゲストに

アメリカン・ドリームをつかんだ
「スイングの王様」。
ベニー！ベニー！ベニー！



©阿部 克自

GRANSHIP JAZZ LIVE

スイング ジャズクラブ

SWING JAZZ CLUB

～ BENNY GOODMAN ～

2008.2/24 SUN

チケット
発売中

15:30開場 16:00開演 グランシップ中ホール・大地
全席指定 一般4,500円 学生券(大学生以下) 2,500円



ホストバンド／奥田「スインギー」英人&ブルースカイオーケストラ



セシル・モンロー (Ds)



宮尾香代 (Vo)

グランシップ ジャズ クリニック ～ビッグバンドに参加しよう～

参加者募集中!

23日 13:00～18:00 24日 10:00～18:00

前日にプロのテクニックを学びながら各パートと全体練習を、さらに当日公演前にリハーサル。そして、迎える本番ではプロのビッグバンドとステージで共演!

■募集パート／tp, tb, sax, ds, b, pfiほか ■対象／楽器演奏経験のある中学生以上(年齢制限なし) ■課題曲／「Sing Sing Sing」「Don't Be That Way」 ■料金／一般5,000円 学生3,000円
■申込・問合せ／(財)静岡県文化財団企画制作課 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716

葵の御紋は

徳川幕府最後の将軍、徳川慶喜公。

その孫にあられる高松宮妃喜久子さまが



将軍家のしるし。

昭和天皇の弟君、宣仁親王にお輿入れなされたのは、昭和五年二月四日。ロンドンでは軍縮会議が、インドではガンジーが塩の行進を。そして、ウルグアイでは第一回サッカーW杯が開かれた年のことである。

さすがは徳川家、そして、さすがは宮家へのお輿入れだけあってそのお支度は、いずれも凜として典雅。

この京雛のひと揃いは、その象徴のようなものである。

親王や文官の正装を召した男雛に、公家女子姿の女雛。

調度品の一つ一つには、徳川姓のしるし「葵の御紋」があらわれている。

京都の人形師、田中弥兵衛につくらせたという逸品は

引き出しの中に収められたお道具まで手抜きはない。

典雅な美しさは

さて、そうした由緒正しき「おひなさま」が七〇年近くの時を経て

慶喜公ゆかりの地、静岡にやってきたのはご存知の通り。

目を見張るばかりのお人形の美しさ、道具類の豪華さ精巧さにふれる

春、うぐいすの頃も、もう近い。

宮家のあかし。



高松宮妃喜久子さま

高松宮宣仁親王の妃殿下で、徳川喜久公爵の次女。母君は有栖川宮威仁親王の第二王女・美枝子さま。父方祖父は、徳川慶喜公というお家柄。平成十六年十二月に薨去(こうきょ)された。



女雛

単(ひとえ)に桂(うちぎ)・唐衣(からぎぬ)を重ね、腰には裳(も)を纏(まと)っている。髪上具(かみあげぐ)を付け、手に檜扇(ひおうぎ)を持った唐衣裳姿(十二単)。公家女子の正装。

男雛

柏(あこめ)・下襲(したぎさね)に袍(ほう)を付け、冠をかぶり、腰には太刀。手に笏(しゃく)をもった束帯姿(そくたいすがた)。公家男子、親王や文官の正装。



目にする機会は、この時代、そう多くはないに違いはない。

そもそも雛人形は、男女一対だけだった。それが江戸中期以降から雛祭り(あつち)が盛んになり、大揃いが登場する。とはいっても主に大名家や公家方で詠えられたもので、それも昭和の初期まで。高松宮家のような豪華な一揃いを一般の人々が

ミニチュアのことを雛形というが、もとは人を小さくかたどったもの(のこと)で、平安の頃、人形はへびひな(雛)と呼ばれていたという。『源氏物語』をひもとけば、なるほど「紅葉賀」の段には幼い葵の上がへびひなで遊ぶ様子が描かれている。また、当時は陰暦三月の最初の巳の日に、雛人形で身体を撫で、汚れをこれに移して川や海に流して厄災を祓った(巳の日の祓え(みのひのはらえ)が行われており、どうやらこれが三月三日の雛祭りの起源であるらしい。

平安の世の(へびひな)から、やがて三月三日の桃の節句へ。



今年(ことし)のスポット展示は、お茶のお道具、粧(け)いのお道具。

「おひなさま」は顔が命——というが、特別な来歴をもつ逸品は、調度類も破格だ。美しいお道具が引き出しの一つ一つにぎゅぎゅと収められ、その精緻なつくり、とりわけ蒔絵(しきゑ)の素晴らしさは当代最高といわれるほど。そこには和の文化のすべてが息づいている。

グランシップでは、毎年アイテムを変え、

示を行って

いるが、今

紹介する

のは、へお

粧道具具と

たといえばお

化粧道具具

は、鏡台や

髪台(びん

だい)、耳盥

(みみだら

い)、湯桶(ゆとう)などはもちろん、鏡台や髪台の引き出しの中まで大公開。その小さく、麗しき世界こそ、雅な時代への入口だ。



お茶道具

お化粧道具



全国各地の金太郎も必見。体験参加の申込はお早めに。

静岡県では、雛祭りを月遅れの四月に行っていた地域もある。とくにお茶どころといわれる地域では、四月にひと月遅れで桃の節句を行い、このとき、ひと月早く端午の節句雛も一緒に飾るのが普通だった。つまり内裏雛と並んで、金太郎や桃太郎、桓武天皇が飾られていたのである。

そこで本展に併設の『ふるさとの雛祭り展』では、今回、全国の郷土玩具から(金太郎)を厳選して展示。熊や虎にまたがったり、鯰に乗ったり、あるいは釣鐘や俵を担いだり…と、さまざま金太郎が登場。さらに(雛の日の食べ物)として、雛人形ゆかりのさまざまなお供えが紹介される。また、毎年、趣向を凝らしたワークショップなどのプログラムも楽しみなところ。今回は、《蒔絵》と《香道》の体験や、紙バンドでの小さなおひなさま作りのほか、各週末にはギャラリートークを開催。おいしいお菓子とともに抹茶・煎茶も楽しめる。



人形・調度品あわせて約600点。 高松宮妃のおひなさま展

2/15(金)～3/3(月)

10:00～17:00(入場は16:30まで)

グランシップ6階 展示ギャラリー、交流ホール

前売 350円(当日400円)

※中学生以下と70歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳をお持ちの方は無料



同時開催

ふるさとの雛祭り展

丈夫で健やかな成長を願う～

「親の思いを託す金太郎」

■赤色のまじない～赤色の郷土玩具～

■雛まつり、なぜ? なぜ? なんでもお答えコーナー



はじめての香遊び「香道体験」2/16(土)・17(日)

事前申込制/有料

日本古来の芸道の一つであり、世界で唯一の嗅覚の遊びでもある「香道」。今回は、徳川家と所縁深い譜代大名の流派である安藤家御家流の安藤綾信宗家が、かつての高松宮邸、高輪御殿にちなで特別に組まれたという「高輪雛遊香」を初披露。この風雅な香世界をぜひ、この機会に。

■各日3席 ①10:30～ ②13:00～ ③14:30～
(1回約60分) ■6階交流ホール

■講師/横山麗月鶴(安藤家御家流静岡県支部長)

■対象/中学生以上ならどなたでも

(小学生は父兄同伴の場合のみ参加可)

■定員/各回20名 ■参加料/1,500円



紙バンドでつくる「てまり・こまどちっちゃなおひなさま」

事前申込不要/有料

2/23(土)・24(日)

牛乳パックから作られる紙バンドを使っておひなさまを作ってみよう。てまりやこま作りもできます。

■10:30～12:00/13:00～15:00(体験時間は約30分) ■6階交流ホール

■対象/親子向け(大人のみでも可) ■参加料/300円

■協力/ひよっとこの会、NPO法人ふじ環境倶楽部、紙・バンドえ〜ど隊

伝統工芸に挑戦「蒔絵入門」3/1(土)・2(日)

事前申込制/有料

漆面に金銀、錫などの粉をまいたり、卵や貝の殻で加飾した駿河蒔絵。静岡県の伝統工芸として広く知られる「蒔絵」の技を、国指定の伝統工芸師の指南のもとで初歩を体験。

■13:00～15:00(1回約20分) ■6階交流ホール

■講師/国指定駿河蒔絵 伝統工芸師(蒔絵師)見城福二

■対象/小学生以上ならどなたでも

■定員/各日10名 ■参加料/300円



イメージ

ギャラリーツアー

2/15(金)・16(土)・24(日)

3/2(日)・3(月)

■各日2回 ①11:00～ ②13:30～

■講師/環境民俗学者 八木洋行
(ふるさとの雛まつり展監修)

ちよっど一服「呈茶コーナー」

会期中の土・日

鑑賞の合間においしい抹茶(または煎茶)とお菓子はいかが?

■11:00～15:30(お菓子がなくなり次第終了)

■6階交流ホール

■呈茶席/400円(お茶・お菓子付)

■協力/裏千家淡交会静岡支部 煎茶道静山流

各ワークショップのお申し込みは

(財)静岡県文化財団 企画制作課(TEL054-203-5714)または開催期間中の窓口で。

主催/(財)静岡県文化財団 共催/静岡県 後援/静岡県教育委員会

静岡で観る文楽

地方公演の楽しみ

大川 信子

(グランシップペンクラブ会員・常葉学園大学教授)

10月初旬、グランシップに文楽

が来た。人形劇の利点を活かした演目が並ぶ。『近頃河原の達引』では猿回し与太郎の洒脱な動きとともに、猿の遣い手の巧みに劇場が沸いた。『道行初音旅』の静御前が持つ初音の鼓には夫婦狐の革が張られている。その鼓の音に惹かれて現れる子狐の姿に、どよめきが上がった。

『伊達娘恋緋鹿子』の八百屋お七が、恋人を救おうと火の見櫓

によし登る。人形遣いの姿が消え、お七の人形がひとりりで動いているかに見える。視覚的に楽しく見応えのある演目に、親しみを覚えた。

人形といえば、若い遣い手の活躍が目立った。きびきびとした躍動感あふれる人形振りに、目



GRANSHIP Pen Club

を見張る一幕もあった。こうした配役も、地方公演ならではの見所なのかもしれない。一方、大夫の語りが分からないという感想も聞こえてきた。大阪弁で三味線に乗せ、時に歌うような浄瑠璃の語りは、理解しづらいだろう。数年前から国立劇場の文楽公演では、字幕が流れるようになった。そうした

助けがない公演では、最初は戸惑うかもしれない。けれども、何回か通ううちに耳が徐々に慣れてきて、おおよその内容が掴めるようになる。その変化を知るのも文楽の楽しみなのだと思う。文楽には、語り手である大夫に魅かれ、人形の主遣いを最真にし、三味線の音色に聞き入るなど、さまざまな味わい方があ

る。三業一体と言われるこの古典芸能の、三業いずれに魅力を感じたとしても、いつかすべてが渾然一体となつて感じとられるときが来るように思う。それが文楽を観る至福の瞬間なのだろう。まずは自ら体感することから始まる。今年も文楽に親しむ機会が静岡の地で得られたことを、幸いに思う。



【やなぎや さんじ】
1955年都立青山高校入学。できたての落語研究会に入部。ラジオ東京「しろつと寄席」で15週連続勝ち抜く。大学浪人中、両親の猛反対を押し切り、59年五代目柳家小さん入門。69年17人抜きで真打昇進。十代目柳家小三治を襲名。76年放送演芸大賞、81年芸術選奨文部大臣新人賞、04年芸術選奨文部科学大臣賞等を受賞のほか、05年紫綬褒章を受章。著書に「ま・くら」「もひとつま・くら」「落語家論」「ハイ・ク」他。落語協会理事。趣味はオーディオ、クラシック音楽、オートバイ、スキー、カメラ、ゴルフ、俳句、他にハモニカ、塩の研究。39年東京都生まれ。

〈古

川に水絶えず〉とは、落語『花見酒』にも出てくるフレーズだが、確かに伝統と名のつくものは、その盛衰にかかわらず、命脈をしっかりと保っているものだ。ブームに沸こうが、それが去ろうが、江戸の頃より寄席演芸の主格を張る落語。まさに〈古川〉の如し、である。

落語というのは、もともとオチのある話「落とし噺」から生まれた言葉で、最後にストンと落ちる、その面白さは落語の魅力の一つであることは間違いない。けれども、何度聞いた噺でもまた聞きたくなるとい

古川の命脈である。

さ

て、その「芸」のチカラを名人と呼ばれる噺家の至芸で味わってもらおう——というのが、『グランシップ名人会』である。この静岡で、落語界の命脈ともいえるべき「名人芸」にCDやDVDではなく、直接ふれる機会が残念ながらそう多くない。第一回には、アノ立川談志が登場し、もちろんチケットは即完売。そして、待望の第二回、高座に上がるのがこの人、柳家小三治である。

十七人抜きで真打に昇進した話など、逸材ぶりを語るエピソードには事欠かず、

名

人というところ、その道一筋の一本気、というイメージがあるが、小三治の場合、多趣味なことでも知られ、四十代で腱鞘炎を患うまでは、バイクライダーとして有名。それに関する著書もある。日々の興味が血肉とし、市井の悲喜を芸として昇華できるのも名人ならではの、小三治ならではの。

「芸」の素晴らしさは、決してものさしでは測ることができない。が、五感で知ることができる。だから、私たちはただそれを楽しみにすればいい。出陣子の三上り羯鼓に送られて、小三治が高座に上がったなら、ただその話芸を存分に味わえばいいのである。

柳家小三治独演会

人気、実力ともに当代きつて。

完売必至。早めに、とにかく早めに。

グランシップ名人会 vol.2

チケット発売中!

平成二十年三月二十一日(金)

開場/十八時三〇分 開演/十九時〇〇分

グランシップ 六階 交流ホール

全席指定 四、五〇〇円(当日五、〇〇〇円)

※就学児童以上対象

主催/財団法人静岡県文化財団

共催/駿府寄席実行委員会

後援/静岡県

日本のけしきから、さまざまなことが消えてゆく時代のながれだが、そのひとつにお辞儀があるのではないだろうか。そのかわりに、ごく当たり前のように目立ってきたのが、握手という世界だ。

近ごろ、テレビ画面などで左右からすーっと近づいて握手するシーンをよく見るが、日本人と西洋人、西洋人と西洋人には感じない違和感を日本人同士の手握手に感じてしまう。何とこのだろうか、けしきとして美しくないのである。

私は、金沢や松江などのような和風の街が好きだが、そんな街で老人同士の見事なお辞儀を偶然に見かけたると、何だか得したような気分になる。日本における庶民のあいだでのお辞儀という習慣が、いつの頃からはじまったのかは知らないが、ながい時をかけて伝承されてきた、日本人独特の伝統芸という趣きさもあるのだ。間合い、眼差し、頭の下げ方、姿勢、直り方……この単純な一連のよどみない動作が、得も言われぬ美しさをかもし出す。人と人が相対峙する距離の自然さからはじまる、礼という儀式は、た色に染まらぬお辞儀は、すみずみ

まで浸透した、日本人にまことによく似合う無言の挨拶ではなからうか。ていねいすぎる、深すぎる、相手に重圧をかけるお辞儀というのもあり、お辞儀する自分に酔っているようなケースもあるのだが、普通の人々が普通にこなしているお辞儀には、あらためて拝見すればうっとりとする魅力があるのだ。

お辞儀は、とりあえず他人とのあいだに、きわめて適当な、気持ちを落ち着かせる平安な距離を保たなければできない。近すぎず離れすぎず……この微妙な距離が、見事な目分量で計られるところに、日本人とお辞儀の深い馴染み合いが感じられる。

それに対して握手は、何となくズケツと相手に近づく感がある。西洋人同士の握手にそれを感じないのは、やはり握手をする歴史のちがいかもしい。西洋人のお辞儀が、いまひとつ自然に溶け込まぬのと同じで、日本人と握手の縁がまだ浅いせいなのだろうか。自然なお辞儀がなかなかむずかしいのと同じで、自然な握手を成り立たせるのにも、それなりの歴史と

お辞儀と握手

いうものがあるという気がするのだ。

自然なお辞儀……これを頭に描いて、一つひとつの動作を分解し、それをなぞってゆくような訓練は、逆に不自然さをまといかねない。したがって、時をこなしてゆくほかないのだが、お辞儀という習慣自体が先細っている現状は、やはり日本人のつくる風景として寂しいかぎりだ。

にもかかわらず、握手に馴れる必要のある時代であることもたしかで、自然な握手もまた、時をこなして身につけてゆくほかなさそう。自然なお辞儀を保ち、自然な握手を手にしようとする日本人は、品格以前にさまざまな厄介をかかえているようだ。



画／風鈴丸

【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。





公演情報

2008/1-2008/3

※12月上旬の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。



要事前申込

2008.2/3

第21回地域文化活動賞 表彰式・発表会



県内各地ですぐれた文化活動を行っている文化団体を表彰。受賞団体によるステージも楽しめる。当日入場も可。

- 13:00開場 13:30開演
- 会議ホール・風
- 入場無料(事前申込制 1/10必着)
- ※申込方法はP25下欄参照



要事前申込

2008.2/10

静鉄グループPRESENTS グランシップコンサート 音楽の不思議 ～メロディのからくり～

「N響アワー」でおなじみの作曲家・池辺晋一郎が、素敵な演奏とともに音楽のからくりをわかりやすく解説。



池辺晋一郎



長谷川さち子



静岡交響楽団

- 【指揮・ピアノ・お話】池辺晋一郎
- 【ピアノ】長谷川さち子
- 【演奏】静岡交響楽団
- 【曲目】ビゼー／歌劇「カルメン」より前奏曲
モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番ハ長調K467 第2楽章
シューベルト／劇音楽「ロザムンデ」より
間奏曲第2番、バレエ音楽第2番
池辺晋一郎／交響曲第5番“シンプルックス”
- 13:30開場 14:00開演
- 中ホール・大地
- 全席指定(事前申込制 1/10必着) 1,000円
- ※申込方法はP25下欄参照

→P11～参照



申込終了

2008.1/11

グランシップ&静岡ガス ニューイヤーコンサート



運動会などでもおなじみのワーグナーの『双頭の鷲の旗の下に』をはじめ、マーチ王スーザの『美中の美』など、一年の幕開けにふさわしい澁刺とした行進曲をたっぷり。第二部では、名曲に乗せて、美しいバレエをどうぞ。

- 【指揮】堤 俊作
- 【演奏】静岡交響楽団
- 【バレエ・振付】マシモ・アクリ ほか
- 【プログラム】

- 第一部〈初春行進曲特集〉
J.シュトラウスⅡ／喜歌劇『ジプシー男爵』第一幕入場行進曲、『エジプト行進曲』 ワーグナー『双頭の鷲の旗の下に』 スーザ『美中の美』ほか
- 第二部〈バレエコンサート〉
マシモ・アクリ編／卒業式と謝恩会(J.シュトラウスⅡ作品より)
- 昼公演 13:30開場 14:00開演
夜公演 18:30開場 19:00開演
- 中ホール・大地
- 全席指定／要事前申込



チケット発売中

2008.1/27

G P Pコード380-144 L Lコード43271 S

グランシップ静岡能

新春吉例の能楽をおとどける『静岡能』。宝生流による今年の能の演目は、在原業平の霊が伊勢物語について語り、昔を偲んで舞う『雲林院』のほか、鬼女と陰陽師安倍晴明との物語『鉄輪』を。また、狂言では田舎者が奇想天外に悪党を追い払う『磁石』、さらに仕舞『嵐山』『西行桜』を上演。

- 13:00開場 13:30開演
- 中ホール・大地
- 全席指定 S席 5,000円 A席 4,000円
学生券(大学生以下) 2,000円



雲林院



鉄輪

入場無料

12/11・25

幼稚園・保育園の園児による 「クリスマスの絵」の展示

グランシップ近隣を中心に幼稚園、保育園の園児がクリスマスをテーマに描いた「クリスマスの絵」を展示します。サンタクロースとトナカイやお父さん・お母さんなど家族の絵など、心暖まる作品が約220点展示されます。

- 平成19年12月11日(火)～25日(火)
9:00～22:00
(12月18日(火)～21(金)は休館日のため除く)
- 3階共通ロビー
- 協力・絵の提供
あけぼの保育園、
有度西保育園、
静岡サレジオ幼稚園、
瀬名川保育園、
南八幡幼稚園



入場無料

2008.1/1

グランシップ初日の出特別開放



新年の幕開けをグランシップで!展望ロビーから初日の出を眺めてみませんか。甘酒、おしるこ等のサービスもあります。(なくなり次第終了)

- 1月1日(火・祝) 6:30～
- 10階展望ロビー
- 入場無料
- ※グランシップ駐車場(有料)は6:15から開放します。
- ※当日の閉館時間は18:00となります。
- お問い合わせ／(財)静岡県文化財団 総務課
TEL.054-203-5710



託児をご希望の方は、公演1週間前までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。☎054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。

キラメッセぬまづで開催！

入場無料 2008.1/12^①・13^②ふじのくに
伝統文化フェスティバル

～どうぶつの杜で大交流～

今回の見どころは“動物”をテーマに展開するステージ。若手の芸能継承者も多数出演。物産販売など、家族みなでお楽しみを。

【出演】川合花の舞（浜松市）、出崎神社の猿っ子踊り（西伊豆町）、寺野三日常祭礼ひよんどり（浜松市）、鶴踊り（伊豆の国市）、徳山の盆踊（鹿ん舞）（川根本町）、他

■12:00開場 13:00開演

■キラメッセぬまづ（沼津市）

■入場無料

■問合せ／ふじのくに伝統文化フェスティバル
実行委員会事務局 TEL054-221-2856
（国民文化祭準備室内）



川合花の舞



寺野三日常祭礼ひよんどり



出崎神社の猿っ子踊り



徳山の盆踊（鹿ん舞）



鶴踊り



沼津しゃぎり



戸田の漁師踊

2008.2/23^①・24^②

応募期間／10月6日（土）～12月23日（日・祝）

グランシップ ジャズ クリニック

スイングジャズクラブゲストプレイヤーも講師として参加。プロのテクを盗んで、翌日の本番にはいっしょにスイング！

■対象／楽器演奏経験のある中学生以上

■参加料／各回 一般 5,000円 学生 3,000円

■募集パート／tp、tb、sax、ds、b、pf ほか

■お申し込み・お問い合わせ

（財）静岡県文化財団企画制作課

TEL054-203-5714

→P15参照



チケット発売中

2008.3/21^①

G Pコード381-237 Lコード43892 S

グランシップ名人会vol.2

柳家小三治独演会

今や人気、実力ともに当代一の呼び声も高い小三治が登場。完売必至。お早めに。

■18:30開場 19:00開演 ■6階交流ホール

■全席指定 前売4,500円 →P20～参照



1/27日（日）チケット発売

2008.3/29^①

G Lコード41112

獣拳戦隊ゲキレンジャー
ファイナルライブツアー2008

TVで放送中の獣

拳戦隊ゲキレンジ

ャーの本格アクション

ステージ。主演俳優

優によるトークショーやお楽しみ抽選会も開催。

■10:00／13:00／16:00開演

■大ホール・海

■全席指定 S席 3,500円 A席 2,500円

※3歳未満膝上鑑賞無料

「地域文化活動賞 表彰式・発表会」の申し込み方法

見学希望される方は、住所・氏名・電話番号・参加人数を明記の上、電話・FAX・ハガキのいずれかで下記までお申し込みください。〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ 「地域文化活動賞」係
TEL:054-203-5714/FAX:054-203-5716

「音楽の不思議」の申し込み方法

往復ハガキに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・参加人数（2名まで／小学生以上）を記入（返信ハガキにも代表者の郵便番号・住所・氏名を必ず明記）の上、下記まで郵送のこと。（2008年1月10日（木）必着）応募者多数の場合は抽選。結果は1/15頃、返信ハガキにて通知。〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ「静鉄コンサート」係

「子どもたちが伝える昔ばなし発表会」の申し込み方法

ハガキ・FAX・電子メールのいずれかで、住所・氏名・年齢・電話番号・参加人数を明記の上、下記までお申し込みください。〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ「子どもたちが伝える昔ばなし」発表会 係
FAX:054-203-5716/e-mail:info@granship.or.jp



チケット発売中

2008.2/15^①・3/3^②

G Lコード43351 K KY

高松宮妃のおひなさま展

徳川慶喜公の孫に当たられる高松宮妃喜久子様がご成婚の御支度としてお持ちになった京雛を展示。10回目の今年はお化粧道具・茶道道具のスポット展示、蒔絵や香道のワークショップなど実施。

■10:00～17:00（最終入場16:30）

■6階展示ギャラリーほか

■前売 350円（当日 400円）

※中学生以下・70歳以上無料

〔事前申込制のワークショップ〕

●香道体験入門 2/16（土）・17（日）

各回20名 参加料 1,500円

●蒔絵入門 3/1（土）・2（日） 参加料 300円

→P16～参照



要事前申込

2008.2/21^①「子どもたちが伝える昔ばなし」
発表会

静岡県内に語り継がれてきた各地に残る民話や昔話に、地元の小学生による絵画と音響効果、解説を加えて上映します。

■13:00～

■6階交流ホール

■入場無料（事前申込制 2/14必着）

※申込方法はP25下欄参照



チケット発売中

2008.2/24^①

G Pコード255-117 Lコード48409 S CN KY

GRANSHIP JAZZ LIVE
スイング ジャズ クラブ
vol.3 ベニー・グッドマン

スイングの王様といわれたベニー。「レッツ・ダンス」「メモリーズ・オブ・ユー」「シング・シング・シング」など、都会的で躍動感のあるサウンドをたっぷり。

【ホストバンド】

ブルースカイオーケストラ

【ゲスト】セシル・モンロー（ドラム）

■15:30開場 16:00開演

■中ホール・大地

■全席指定 4,500円

学生券（大学生以下）2,500円



JUST FINISHED!



イッセー尾形さん 20.Oct.2007

中ホール・大地での「イッセー尾形のとまらない生活2007 in静岡」上演後の一枚。

読者 Presents

「柳家小三治独演会」希少チケットほかプレゼント。



2/10開催「音楽の不思議～メロディのからくり」より池辺晋一郎サイン入りCD「交響曲第3番&第5番」①を1名に、また、プラチナチケットと噂される3/21開催「グランシップ名人会vol.2柳家小三治独演会」チケット②を1名に、さらに「グランシップ来館700万人記念タオル」③を2名にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記あて郵送を。(平成20年2月末日消印有効)なお、当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係 TEL054-203-5714

MEMBERS

「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいるためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費(初年度会費は入会月により異なります。)

- ◆レギュラー会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引◆チケット先行予約◆電話での予約受付◆
公演情報誌送付◆提携店割引◆法人会員特典(情報誌上に社名掲載)
(チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局

〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階

TEL.054 (203) 5714 FAX.054 (203) 5716

〈友の会法人会員〉

- 法人特別会員／静岡ガス(株)、鈴与(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)
- 法人一般会員／(株)タミヤ、コクヨマーケティング(株)、(株)NTTドコモ東海、劇団ひまわり

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

異才
天才
奇才
こども大会

出演者大募集

あなたのパワーに、であいたい!

「異才・天才・奇才 こども大会」は、生き生きとした個性を持った子供たちを育て応援することを目的に、2001年からスタートしました。これまでの8回の大会には、360組754名の小学生が参加し、歌唱、舞踊、演奏など得意の身体芸を披露してくれました。魅力的な個性と素晴らしい身体芸の持ち主である「小学生」の皆さんによる「異才・天才・奇才 こども大会」の開催に向けて、出演者を大募集します。あなたの隠れた才能を静岡芸術劇場で発揮してください。

◆応募資格 静岡県在住の小学生
(原則として個人参加、グループの場合は3名以内)

◆応募締切 2008年1月18日(金)

◆お申し込み・お問合せ
(財)静岡県舞台芸術センター
Tel.054-203-5730

SPAC
Shizuoka Performing Arts Center
財団法人 静岡県舞台芸術センター

2008 3 / 1 ± 2 日
静岡芸術劇場

TOPIC-1

グランシップ来館者
700万人達成!

グランシップの入館者が、11月2日をもって累計700万人を突破。これを記念し「宝井馬琴の家族でたのしむ講談教室」に会場した家族連れに、700万人達成記念品を贈呈した。当日は、名人芸を通して日本語の美しさや味わいを再発見する場となり、講談教室終了後、宝井馬琴を中心に来場者が写真撮影をする姿が見られた。

TOPIC-2

“昭和”の写真約100点。
「木村伊兵衛展」開催。

グランシップの秋の恒例「世界写真家シリーズ」。第4回の開催となった今年(10/6～21)は、昭和の日本を代表する写真家木村伊兵衛の作品展を開催。有名な秋田の「おぼこ」をはじめ、何必館・京都現代美術館所蔵の貴重なオリジナルプリント約100点が展示されたほか、期間中の週末には4日間のギャラリートークを開催。展示ギャラリーは、写真ファンだけでなく多くの観覧客で賑わった。

TOPIC-3

1,547点より入賞作品決定。
「静岡の魅力 フォトコンテスト」

静岡県文化財団主催の写真公募展「静岡の魅力第4回フォトコンテスト」の入賞作品が決定。昨年度からの募集に計1,547点もの作品が集まり、最優秀賞には静岡市の川口芳郎さんの『冬木立ち』が選ばれたほか、入賞作品が決定した。主な入賞者は以下の通り。(敬称略)

■〈最優秀賞〉冬木立ち(静岡市／川口芳郎)

■静岡部門〈大賞〉夕暮れ(島田市／村上則子)
〈優秀賞〉視線(島田市／大池利雄)〈特選〉天空へ続く吊橋(愛知県／深谷邦雄)出初式(静岡市／大石薫)

TOPIC-4

「世界お茶まつり2007」に
177団体が参加!10万人来場!

世界26の国と地域から177の団体が参加して開催された「世界お茶まつり2007」。〈O-CHAは世界語〉をテーマに、グランシップを中心に世界のお茶を集めた縁日や緑茶コンテスト、大茶会をはじめ、見本市、緑茶会議、学術会議などが行われ、11/1～4の4日間、延べ10万人以上の人々が訪れた。

TOPIC-5

「国際アビリンピック」開催を
感動イベントが後押し。

60の国と地域から若者と障害者約1,200人が集結し、ものづくりやサービスの技を競う「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」が11/15より沼津市(技能五輪会場)と静岡市(アビリンピック会場)で行なわれた。11/14には皇太子殿下をお迎えして技能五輪・アビリンピック同時開催の開会式が開かれた。11/15にはグランシップ中ホールで、ねむの木学園の子どもたちや宮城まり子、加藤登紀子、清水紘子らによる「NHKハート・コンサート」が、さらに11/18には大ホールで「国際アビリンピック閉会式」に合わせて「芸術祭」も催され、盲目のピアニスト辻井伸行ほか、すばらしい才能が集結。感動のフィナーレを迎えた。

■自由部門〈大賞〉放水中(浜松市／鈴木邦明)
〈優秀賞〉二匹の子犬(島田市／駒形多禾次)
〈特選〉森の朝(浜松市／水谷サコ)白鳥のように(埼玉県／鹿島秀夫)



〈最優秀賞〉「冬木立ち」静岡市 川口芳郎

TOPIC-6

これぞ名人芸!
「グランシップ独演会」始まる。

“本物の芸”がじっくりと味わえる「グランシップ名人会」が今年度よりスタート。その記念すべき第1回目の「立川談志独演会」が11/9、11階会議ホール・風にて行なわれ、これぞ談志!の口調もたっぷりと〈二人旅〉〈へっつい幽霊〉の2席を披露。満場の観客は大きな笑いと共に、その巧みな話芸を堪能した。

TOPIC-7

テーマは、火の用心。
「しずおか文化」91号!

いつの世も火の取扱いには要注意。〈火の用心〉にまつわる様々な文化を紹介。地域のシンボルタワーとして個性を発揮する「火の見櫓」や「秋葉山の山岳修験と火防信仰」「防火の呪歌と火防せの儀礼」のほか、「静岡大火」や「富士宮大火」など過去の大火災の教訓、静岡県の気象と防火の最前線なども。

■しずおか文化 91号(2007年冬号／B5判／季刊誌／700円)バックナンバー、定期購読のお申込みは編集部まで

〈編集部〉〒420-0035 静岡市葵区七間町8-20

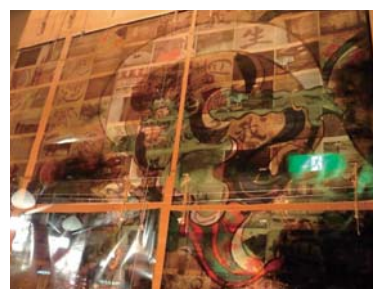
毎日江崎ビル7階 ピーエーシー内

「しずおか文化」編集部

TEL054-254-8854 FAX054-251-1483

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

若手クリエイターによるディスプレイスペース、大ホール ショーウィンドウ。今年のテーマは「大地・海・風」。その第4弾は、静岡文化芸術大学学生によるディスプレイ。12月下旬まで展示予定。



タイトル／『にほん』 制作／chahari

TRY GRANSHIP!
グランシップを
使ってみよう!

#004

式典編



1

参加者はどれくらい?

A

500人
以上

B

500人
未満

2

会場のスタイルは?

A

自然光が注ぐ
アリーナ形式の
大空間

B

格調高い
プロセニウム
ホール

大ホール・海



最大 4,626席

ステージ面積最大 560㎡

映像設備完備

天井高57.6mの大空間では、全国規模の式典にも対応。楽屋(有料)18室のほか、ホワイエ、ドリンクコーナーも。

中ホール・大地



会議形式最大 1,209席

ステージ面積最大 404㎡

映像・同時通訳設備完備

ゆるやかな客席配置でどの席からも観やすく聞きやすい会場。ステージ上での音楽の演奏可。楽屋(有料)9室あり。

式典

を開きたい!

グランシップで

3

主賓やスタッフ用に
控室が必要?

A

YES

B

NO

4

受付やクローク用に
ロビーがほしい?

A

YES

B

NO

5

会場のスタイルは?

A

レイアウト
フリーの
楕円空間

B

富士山が
見える
国際会議場

交流ホール



立食パーティ形式 350人

面積 432㎡

吊り物/バトン 4ヶ所

ロビーに可動式クローク棚(×5)あり。ケータリングサービス利用により、式典後のパーティ会場としてもおすすめ。

会議ホール・風



最大 約500席

控室 41㎡

吊り物/バトン 1ヶ所

ステージあり。2層吹き抜けでスライド式壁面の開閉により窓越しに景観も。受付、主催者事務室あり。

会議室1001-1



120席

面積 171㎡

吊り物/バトン 1ヶ所

2室の一体利用なら300名での使用も可。小会議室は控室としても活躍。ステージ(有料)の設置もOK。

会議室1001-2



180席

面積 279㎡

吊り物/バトン 2ヶ所

施設ご利用についてのご案内

備 品 紹 介

移動ステージ



W180×D90×H40cm
複数を組み合せることにより、ステージの広さも自在に。

演台・花台



式典開催前にスタッフが用意。要事前申込。有料。

音響ワゴン



マイク(有線／ワイヤレス)のほか、MD・CD・カセットテープの再生可。

表彰盆



無料 大: 610mm×425mm (B3対応)
中: 520mm×359mm (A3対応)
小: 455mm×315mm (B4対応)

施設利用料金表

名 称			使用料 (単位: 円)					
			午前 (9時～12時まで)	午後 (13時～17時まで)	夜間 (17時30分～22時まで)	午前～午後 (9時～17時まで)	午後～夜間 (13時～22時まで)	全日 (9時～22時まで)
大ホール・海	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	56,000	85,000	127,000	141,000	212,000	245,000
		土日休日	68,000	102,000	152,000	170,000	254,000	293,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	75,000	113,000	169,000	188,000	282,000	325,000
		土日休日	90,000	136,000	203,000	226,000	339,000	391,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	94,000	141,000	211,000	235,000	352,000	406,000
		土日休日	113,000	170,000	254,000	283,000	424,000	489,000
中ホール・大地	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	25,000	38,000	57,000	63,000	95,000	110,000
		土日休日	30,000	46,000	68,000	76,000	114,000	132,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	34,000	51,000	76,000	85,000	127,000	146,000
		土日休日	41,000	61,000	91,000	102,000	152,000	176,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	42,000	63,000	95,000	105,000	158,000	182,000
		土日休日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
交流ホール	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	20,000	30,000	44,000	50,000	74,000	85,000
		土日休日	24,000	35,000	53,000	59,000	88,000	102,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	26,000	39,000	59,000	65,000	98,000	113,000
		土日休日	32,000	47,000	71,000	79,000	118,000	137,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	33,000	49,000	74,000	82,000	123,000	142,000
		土日休日	39,000	59,000	89,000	98,000	148,000	171,000
会議室1001-1	平 日	39,000	59,000	89,000	98,000	148,000	171,000	
	土日休日	49,000	74,000	111,000	123,000	185,000	213,000	
会議室1001-2			15,300	20,500	23,000	35,800	43,500	58,800
会議室1001-1			10,200	13,700	15,400	23,900	29,100	39,300
会議室1001-2			15,300	20,500	23,000	35,800	43,500	58,800

- 商業宣伝、営業等を目的として使用する場合は、大ホール、中ホール、交流ホールについては、「入場料3,001円～5,000円以下」の区分を適用し、その他については、当該区分の額に100分の200を乗じた額とします。
- 練習、準備または撤去のために使用する場合は、大ホール、中ホール、交流ホール、会議ホールについては、「入場料なし」の区分の額に100分の50を乗じた額とします。

おしらせ

グランシップは、施設の定期点検のため、下記の期間全館休館となります。
施設使用にかかわる予約受付等の事務処理も休館中は行いませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。
(図書館コーナー、情報ラウンジ、カフェ、レストランもお休みです。)

平成19年 12月18日(火)～21日(金)
平成20年 1月16日(水)～18日(金)
平成20年 2月 休館日はありません。
平成20年 3月 休館日はありません。

ご利用についてのご案内

【申込受付】
午前9時～午後8時 ※開館時間／午前9時～午後10時
【申込方法】
電話、FAXまたは当財団窓口にて。受付は先着順ですが、同時申込の場合や受付開始初日の午前9時～10時に申込が重複した場合は抽選となります。

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054 (203) 5713 FAX 054 (203) 6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp>

【申込受付時期&連続使用可能日数】

施設区分	受付開始日	連続使用可能日数
国際会議や 全国規模のコンベンション	随時	
大ホール、中ホール	利用開始日の 2年前の月の初日	14日
会議ホール、交流ホール、 映像ホール	利用開始日の 1年前の月の初日	7日
展示ギャラリー	利用開始日の 1年前の月の初日	14日
会議室、リハーサル室、 練習室、グランシップ広場	利用開始日の 半年前の月の初日	7日



グランシップは全館禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER's VIEW

宝物の言葉。

第2期サポーター イベント業務担当 松浦 康政

「いらつしやいませ」で始まり、「ありがとうございます」で終わる、僕たちの仕事。レセプションリスト。この仕事に出会わなければ、聞くことのない言葉だったかもしれません。初めて公演に立ち会った時には、不安と喜びで一人舞い上がり、お客様へのお声かけがなかなかできなかったり、尋ねられたことに満足に答えられなかったりして自己嫌悪に陥りました。それでもお客様から「ありがとう」の一言を聞けば、嘘のように心が晴れ晴れとします。それは僕にとつて宝物のような魔法の言葉でした。あれから8年。知れば知るほど、奥が深く、未だ学ぶことが多々あります。公演は多くの人の手につくられます。出演する人、舞台を作る人、それを伝える人、陰で支える人、楽しみに見に来る人。そんな大切な時間と場所に立ち会えることができるのは幸せなんだと感じます。

「今日どこかに出かけない？」

「どこに行く？」

「じゃあ、グランシップに行ってみる？」そんなやりとりが交わされるような、そんな身近なグランシップであつたら嬉しいのです。



Report 040

READER'S VIEW

●この度木村伊兵衛展で初めてグランシップおよび「G」を知りました。時間ができた時ぜひ立ち寄つてみたいと思います。

埼玉県 糸山進次さん

●何年か前に『蝶々夫人』を友人7、8名で観ました。久しぶりの冊子を見て懐かしく思います。田村さんのお名前を拝見するのも何年ぶりのことでしょう。これからはときにグランシップへ行きたいと思つています。東京へは月1回はオペラ、コンサート等で行けるようになりました。日曜日の午後の公演を視野に入れてください。家庭の事情が整い、やっと昔の私に戻れたことを楽しんでゆきたいと思つています。

豊橋市 岩瀬啓子さん

●表紙の絵からいつも楽しみにしています。図書館に行かないと手に入らないので毎号見るといわけにはいかないのですが、いろいろな人のエッセーも楽しみにしています。

浜名郡 遠藤公恵さん

●田村館長さん、窓辺“読ませていただきました。ささやかな年金で、ハガキで参加できる物に出掛けます。よりよい企画、希望します。

静岡市 大畑照代さん

●「G」36号を偶然手に入れて情報豊かな見やすい本と思いました。特に木村伊兵衛の記事、関心が持てました。

掛川市 鈴木寿郎さん

★グランシップおよび本誌「G」に関するご意見、ご感想、お問い合わせなど、皆さまからの便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room.....

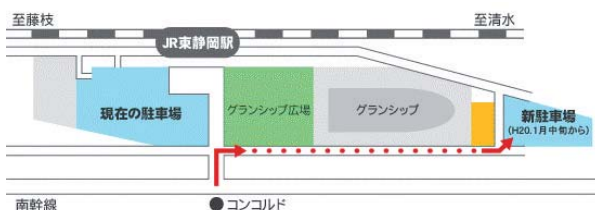
12月8～9日、グランシップで第12回静岡アジア・太平洋学術フォーラムが開かれた。「アジア大交流時代の到来」をテーマに国内はもとより海外からも専門の学者の皆さまが集まり、熱心な意見交換が行われました。私がコーディネーターをお引受けした分科会は「アジアにおける大衆文化の還流」、今ブームの漫画、韓流ドラマ、そしてサッカーを取り上げ、漫画評論家・夏目房之介氏、韓国エンターテインメントナビゲーター・田代親世さん、サッカー中継と解説でお馴染みの山本浩氏に実体験を通しての現状と影響などを紹介していただきました。いずれにしても大衆文化のブームは異文化を理解するチャンスであり、新しいものを生み出すチャンスでもある。恐れずに「見る、聞く、知る」ことの大切さを強調されていました。漫画と韓流ドラマが苦手だった私には、夏目氏の「登場した頃のビートルズは不良、軽薄などの評価だった。けれど…」の言葉に納得、文化の広がりや深さを再認識するものでした。恒例の「しずおか連詩の会」、来春の「高松宮妃のおひなさま展」など、文化の豊かさを実感していただける、そんなグランシップでありたい!と思う貴重な経験でした。

グランシップ館長 田村 孝子

埋蔵文化財発掘調査に伴い、 グランシップ駐車場が移転します。



埋蔵文化財調査に伴い、平成20年1月上旬から東静岡駅前の駐車場が、グランシップ東側に移転します。移転後は駐車可能台数が減少し、ご不便をおかけしますが、グランシップにお越しの際は、混雑緩和のため、公共交通機関をご利用ください。



●ACCESS 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。車では、東名高速道路静岡I.C.から20分。静岡バイパス千代田上土I.C.から10分。